

1

3年間の計画

	目標	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)
中学校ブロック保幼 小中連携	① 3校の取組みや実態を把握する ② 様々な分掌で定期的な連携の場をつくる	① いずれかの分掌でブロック会を行う(生徒会・児童会か外国語) ② 管理職や事務職員を含んだ連携会議を開催する ③ 北陵ブロックの子どもの実態を分析する	① 北陵ブロック授業スタンダード案を考える(研究授業等で) ② 1分掌以上で定期的なブロック会を行う ③ 小中で子どもが連携している行事を行う(続けて取り組めるもの)	① 連携が必要な分掌を精査し、定期的な連携ができていない ② 北陵ブロック授業スタンダード案を実践した研究授業を行う
確かな学力の育成	③ 学びあい支えあえる集団づくりを目指す。 ② あきらめずに取り組む生徒の育成を目指す。	① 読み取る力をつけるために→読書タイムの徹底(学校を上げて取り組む。宿題にしない。教師も読む。) ② 伝える力、聞き取る力をつけるために→学びあい活動を授業に組み込むことにチャレンジする(班で考える時間、学びあう時間をとる)	① 読書タイムにライブラリアワー(朗読を聞く時間)を学期に1回設定する。(ボランティアによる朗読を追求する) ② 担外も読書タイムに参加する体制を作る ③ 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニングの視点)のある授業を追求する ④ ユニバーサルデザインの視点での授業づくりを目指す。(視覚教材・ICTの活用を目指す) 全国学力調査の分析を踏まえ、北陵中の生徒に必要な学力をつけるための授業づくりを行う。	① ブックトークなどのキャンペーンを行い、それを保幼小に広げる ② 授業・学活・総合など図書館を利用し、本に触れる機会を増やす ③ 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニングの視点)の実現に向けた校内体制の充実と小学校への発信 ④ 視覚教材・ICTの授業での活用をすすめる 子どもを主体にした授業研究を行い、小学校との交流をすすめる。
豊かな人間性を育む	③ 他人を思いやる気持ち、感じる心を育む。 ② 様々な体験から自己肯定感・自己有用感を高める。 ① 仲間やクラスを大切にしようとする 同僚性を高める。	① いのちの学習を中心とした人権学習に取り組む ② 進路学習・職業体験(福祉体験)などキャリア教育の充実 ③ 「障がい者理解」の講演会を全校生徒対象に行う ④ 生徒会によるあいさつ運動を実施する ⑤ 生徒会と支援学級との交流会を実施する ⑥ 班ノート等を通して班を中心とした集団づくり ⑦ 運動会や祭りなど、地域行事への積極的な参加	① いのちの学習を中心とした人権学習に取り組む ② 進路学習・職業体験(福祉体験)などキャリア教育の充実 ③ 「LGBT」の講演会を全校生徒対象に行う ④ 生徒の感性を高める芸術鑑賞会を開催する ⑤ 生徒会によるあいさつ運動を実施する ⑥ 生徒会と支援学級との交流会を実施する ⑦ 班ノート等を通して、班を中心とした集団づくり ⑧ 運動会や祭りなど、地域行事への積極的な参加	① いのちの学習を中心とした人権学習に取り組む ② 進路学習・職業体験(福祉体験)などキャリア教育の充実 ③ 「人権」の講演会を全校生徒対象に行う ④ 生徒会によるあいさつ運動を実施する ⑤ 生徒会と支援学級との交流会を実施する ⑥ 班ノート等を通して班を中心とした集団づくり ⑦ 運動会や祭りなど、地域行事への積極的な参加
健康体力の増進	② 自分で目標を設定し、基礎体力・競技の技術力向上を目指す。	① ストレッチやウォーミングアップの仕方や効果について説明し、自ら取り組めるようになる ② 授業の初めのウォーミングアップで補強運動を行う、基礎体力の向上を図る ③ 教師側で目標を設定し、その目標を目指し努力することができるようになる。	① 全体ウォーミングアップの後の測定前に、時間を取り各自でウォーミングアップ出来るようになる ② 補強運動の回数・種類を増やし、基礎体力の向上を図る ③ 教師側が設定した目標を達成出来るように、計画的に取り組む事ができる	① 時間配分を考え、各自でウォーミングアップが出来るようになる ② 体力テスト全国平均を上回るよう向上した基礎体力を、しっかり使いこなせるように、体力テストの種目練習に取り組む ③ 自ら目標を設定し、その目標を達成できるように、計画することが出来るようになる ④ 各競技のルールを理解し生徒たちで試合を運営出来るようになる
支援教育の充実				

2

今年度の結果と取組みについて

(1) 全国学力・学習状況調査

インフルエンザによる学年閉鎖のため、実施できませんでした。

○●学力向上の取組み●○

取組み

- ① 校内授業研修の実施 ＊小中合同で実施
 - ・年間に1回は実施する。
 - ・年度ごとにテーマをもって取り組む。
- ② 公開授業週間の実施
 - ・指導計画の充実と授業力の向上を図る。
- ③ 生徒が主体的に学ぶ授業
 - ・ペア学習、班学習、学びあいの場面を作り、互いに高めあう。
- ③ 家庭学習の充実
 - ・生活習慣の確立・保護者支援
- ④ 補習学習会
 - ・放課後学習会
 - ・長期休暇中の学習会
 - ・提出物点検（定期テスト・長期休暇後毎）
 - ・学習サポーターによる授業の入り込み
- ⑤ ICTを活用した授業づくり
 - ・タブレット端末型ノートPC、プロジェクターの活用。
- ⑥ 数学科・英語科での少人数分割授業・習熟度別指導の実施
- ⑦ ユニバーサルデザインの授業づくり

○●子どもたちに育みたい力●○

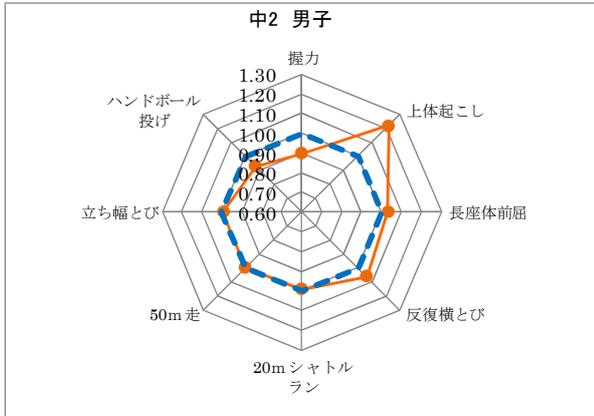
取組み

- ゆめ力 国際理解学習（多文化共生）の充実 キャリア教育（職業体験学習 高校調べ）
- 自分力 やる気スイッチ運動を利用して遅刻防止・チャイム着席の徹底。 支援を要する生徒の支援体制の充実。教職員の気づき→学年会→支援委員会→学校全体。
- つながり力 生徒会活動から、生徒総会や朝のあいさつ運動での発信。
班活動、班長会議、班ノートの取組み。
小学校との連携を強化する。中学校体験授業、部活体験で生徒会による学校紹介をする。
いきいきスクールや小中合同研修会（長期休暇中）。小中合同研究授業（年1回）。生徒会と支援学級との交流会。運動会や祭りなど地域行事への参加。
- 学び力 各教科の授業や補習学習会等の充実（生徒が主体的に学ぶ授業づくり、家庭学習の充実、ICTを活用した授業づくり、生徒の授業への入り込み）。朝の読書タイムの実施。
- 元気力

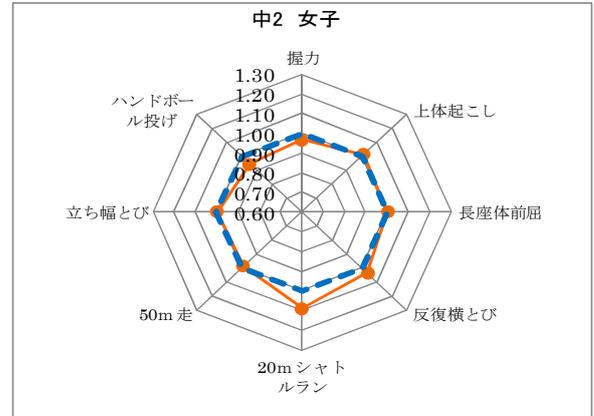
(2) 全国体力・運動能力、生活習慣調査

○●体力●○

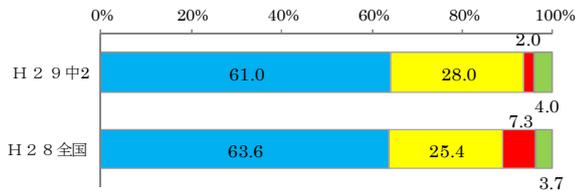
男子 (中2)



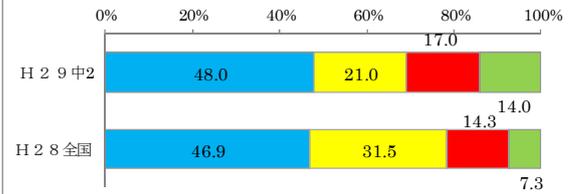
女子 (中2)



運動・スポーツが好きですか(中2男子)



運動・スポーツが好きですか(中2女子)



■好き ■やや好き ■ややきらい ■きらい

分析

○男子の結果は全国平均と比べると、高い種目と低い種目の両極端に分かれていることがわかった。

結果が良かった種目

上体起こし—体幹トレーニングを各クラブで取り入れていたり、授業中の補強運動で腹筋をしている成果が出た。

反復横とび—SAQ トレーニングやラダーを使用しているクラブも多く、授業でも馬跳びなどを行い瞬発力や体の連動性が高まった成果が出た。

結果が悪かった種目

ハンドボール投げ—普段から「投」という動作をする機会が少なく、投げるための筋力が少ない。また、普段からボールを投げていないので投球フォームもあまり良くなかった。

握力—普段から「握る」という動作が少なく、授業でもあまり取り入れていない。ハンドボール投げの結果に比例し、ハンドボールをしっかりと握れないから、ハンドボール投げの結果も悪くなっている。

○女子の結果は全国平均に比べると、ほとんどの種目が平均もしくは平均以上の結果を出すことができた。

結果が良かった種目

20m シャトルラン—運動部に所属している生徒が多く、普段から走る習慣がついている。

結果が悪かった種目

ハンドボール投げ—「投」という動作を日常から行うことが少ない。

取組み

男女共に全国平均から比べると「握力」「投力」が低かったので、「握力」「投力」アップにつながるウォーミングアップや補強運動を行う。また「投」という動作について学び、体の連動性を高める。授業の種目でも、投げるという動作が多くある種目を取り入れ体力テストの結果改善に取り組む。